



広島県同窓会活動再開

広島県同窓会長 村上誠一（7期生）

広島県同窓会は、COVID-19流行前までは、1年に2回の集会を基本に活動をしてまいりましたが、令和4年7月3日（日）、3年ぶりの対面総会と学術講演会を開催できましたので報告します。

今回の会場となったおりづるタワーは、世界遺産原爆ドームの隣に位置し、会議室や展望台を持つ新しい観光スポットです。総会では、来賓として吉永修福岡歯科大学同窓会会長より、元気の出るご挨拶をいただき、身の引き締まる思いでした。

引き続き行われた学術講演会は、本大学医科歯科総合病院 小児歯科馬場篤子准教授に「乳歯の外傷について」という演題で、実際の症例写真や、受傷時のエピソード等、楽しくわかりやすく説明していただきました。講演後の質問の多さ、講演会後の馬場先生への挨拶の行列の長さは、馬場先生の人気と人柄を象徴しておりました。3年ぶりの会食無しの集会は、総勢30名余りの特に若い先生が目立った参加で大成功でした。



同窓生からの手紙

歯科界 みんなの笑顔のために

松島 一夫（8期生）

突然ですが、本学の卒業生の比嘉奈津美参議院議員を知っていますか？今回はご存知ない方のために比嘉先生の紹介をさせていただきます。

比嘉先生は8期で卒業し、沖縄県の離島、久米島にて歯科医師としてスタートしました。後に地元沖縄市に戻り「なつみ歯科医院」を開業しました。

開業と同時に入会した沖縄県歯科医師会での委員会活動をきっかけに、全国で初となる女性の歯科医師会副会長に抜擢。その後、副会長としての歯科医師会での活動が評価され、衆議院議員選挙に地元沖縄第3選挙区から立候補し当選しました。平成24年12月から2期衆議院議員を務め、環境大臣政務官等を歴任。衆議院議員3期目は果たすことが出来ず、参議院議員比例代表として、令和3年10月に繰り上げ当選しました。

現在参議院において、厚生労働委員会、予算委員会に所属、議員連盟においては、国民歯科問題議員連盟事務局長、国民皆歯科健診実現議員連盟事務局次長を務め、「歯科界みんなの笑顔のために」をスローガンに、国政の場で活躍中です。

同窓会としても、比嘉先生の存在は大きな誇りであり、今後も同窓会が一丸となって支援したいと考えています。

Hi! From Clinic

海外ボランティア活動

子どもたちの笑顔の為に 田中勝寛（15期生）

こんにちは。15期生の田中勝寛です。早いもので卒業30年です。卒業後は10年間、大学矯正歯科に在籍し、その後地元福岡県大川市に戻り、現在に至ります。もちろん矯正歯科専門としての毎日を送っていますが、今回は海外ボランティア活動についてお話をさせていただきます。

その活動は、私が日本青年会議所JCIに入会、さらに業種別団体の医療部会に入会し始まりました。最初に参加したのは2001年アフリカギニアでの活動でした。石川靖さん（18期）、大浜寛さん（14期）と一緒させていただきました。その後、静岡佳克さん（14期）からのお誘いで2007年にカンボジアでの活動に参加しました。すると、あれよあれよと2008年に第45代部会長をさせていただきました。その年の事業がJCIアジア大会、世界大会の医療ボランティア部門で最優秀賞をいただきました。その事が縁となり、今日に至るまで毎年参加させていただいています（この2、3年はコロナ禍で行けていませんが）。カンボジアにもJCIが設立し、多くのカンボジアの友人が増え、カンボジアのメンバーと共に活動を行うようになってきました。またコロナ禍前には、TV番組の『情熱大陸』にも出演されたフリースの岩田雅裕先生とも3年程、共に行動してまいりました。私が部会長の時、田舎の子どもらに挨拶の最後言いました。『夢は持ち続けてください』



卒業生 NOW

出会いは成長の種である

武田 吉裕（35期生）

こんにちは。35期卒業の武田吉裕と申します。今年で、卒業して10年目を迎えました。学生時代がつかの前のような気も、またあるときは、だいぶ前のような気もして不思議な感じがするのが、この10年目なのかなと思っています。

大学時代はボクシング部に所属し、卒業後は、部活の先輩がいるからとの理由でインプラント科にて臨床研修を行いました。

研修終了後は、大阪歯科大学口腔インプラント学講座の大学院に入学し、大学院修了後は、助教として、インプラント学講座に在籍し多くの経験を積ませていただきました。

学生時代の出会いが、今の自分の歯科医師人生の道の選択の種になっています。

昨年度で大阪歯科大学附属病院を退職し、新規開業に向けて、研鑽を積む毎日をご一緒しております。

さあ、次の成長の種との出会いはどこにあるのか。一日一日、出会いを大切に。

